

第3章 重点整備地区の設定

1. 重点整備地区の設定の考え方

(1) 重点整備地区選定の要件

本市では、バリアフリー化を速やかにかつ効果的に実現するため、「移動等円滑化の促進に関する基本方針」（以下「基本方針」という。）で定められる要件に該当する地区について、重点整備地区として基本構想を策定します。

【基本方針に定められる重点整備地区の要件】

< 配置要件 >

「生活関連施設の所在地を含み、かつ、生活関連施設相互間の移動が通常徒歩で行われる地区であること。」（法第2条第1項第21号イ）

- 生活関連施設が徒歩圏内に集積している地区
- 地区全体の面積がおおむね400ha（半径約1.1km円の圏域）未満
- 生活関連施設のうち特定旅客施設や官公庁施設、福祉施設等の特別特定建築物に該当するものがおおむね3以上所在すること
- これらの施設を利用する相当数の高齢者、障害者等により、これら施設相互間の移動が徒歩で行われると見込まれること 等

< 課題要件 >

「生活関連施設及び生活関連経路を構成する一般交通用施設（道路、駅前広場、通路その他の一般交通の用に供する施設をいう。）について移動等円滑化のための事業が実施されることが特に必要であると認められる地区であること。」（法第2条第1項第21号ロ）

- 高齢者、障害者等の徒歩若しくは車いすによる移動又は施設の利用状況
- 土地利用や諸機能の集積の実体及び将来の方向性
- 想定される事業の実施範囲等の観点から総合的に判断される地区 等

< 効果要件 >

「当該地区において移動等円滑化のための事業を重点的かつ一体的に実施することが、総合的な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切であると認められる地区であること。」（法第2条第1項第21号ハ）

- 勤労の場の提供や交流と社会参加、消費生活の場等、都市が有する様々な機能の増進
- 各事業の整合性を確保して実施されることについて、実施可能性や集中的・効果的な事業実施の可能性 等

2. 重点整備地区の選定

(1) 重点整備地区の選定の考え方

本市では、交通バリアフリー法に基づいた枚方市交通バリアフリー基本構想を策定し、重点整備地区の設定を行うにあたり、次の目標を掲げています。

枚方市内の鉄道駅 12 駅全てのバリアフリー化を図ることを長期目標とします。

この目標を実現するため、枚方市交通バリアフリー基本構想では、重点整備地区の選定の要件が高い「樟葉駅および周辺地区」、「枚方市駅・枚方公園駅および周辺地区」、「長尾駅・藤阪駅および周辺地区」の 5 駅 3 地区を重点整備地区に設定し、バリアフリー化に関する事業が実施されています。

また、この他の駅および周辺地区については、次のように定めています。

重点整備地区以外の駅および周辺地区については、平成 17 年度以降、第 2 段階、第 3 段階として、要件の高い地区を優先的に「重点整備地区」に選定し、バリアフリー化の推進を検討します。

平成 18 年 12 月にバリアフリー新法の施行により重点整備地区の選定要件が変更され、必ずしも駅を中心とした重点整備地区を選定する必要はなくなりました。しかし、重点整備地区は、「生活関連施設相互間の移動が通常徒歩で行われる地区」が要件とされていることから、多数の徒歩移動が発生すると見込まれる、「特定旅客施設」を含めた重点整備地区を選定することは、最適な重点整備地区の設定方法です。

そのため、今回策定する基本構想においても、重点整備地区の設定は駅を含めた地区を候補地区とし、かつ駅のバリアフリーに関する課題、乗降客数、駅周辺の生活関連施設の状況等を考慮しながら、優先的に取り組む地区を選定します。

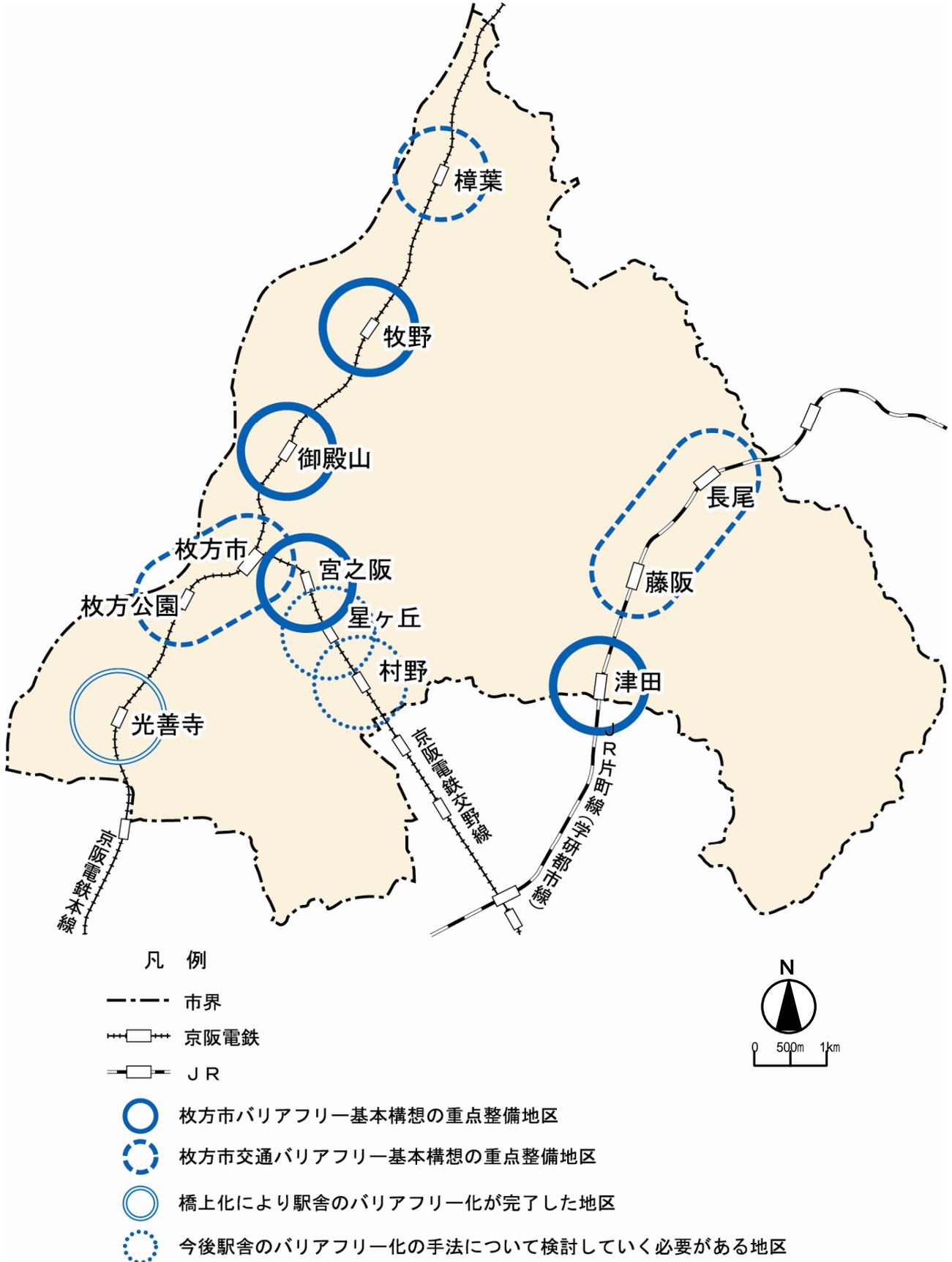
(2) 重点整備地区の設定

基本方針に定められている重点整備地区の要件を満たす地区とし、本基本構想では、要件の高い次の 4 地区を重点整備地区とします。

【枚方市バリアフリー基本構想重点整備地区】

- ◎ 牧野駅および周辺地区
- ◎ 御殿山駅および周辺地区
- ◎ 宮之阪駅および周辺地区
- ◎ 津田駅および周辺地区

【重点整備地区位置図】



重点整備候補地区の要件比較（未策定の7駅について）

候補地区	配置要件（主な特別特定建築物）	課題要件	効果要件	
津田駅および周辺地区	津田支所、津田生涯学習市民センター・津田図書館 NTT津田支所、(株)平和堂アル・プラザ枚方、松谷病院、高井病院	●地上駅であるが改札とホームとの高低差があり、階段のみの移動である	●乗降客数： 12,166人	●東口駅前広場の整備 ●府道交野久御山線の整備 ●（仮称）第二枚方警察署の整備
牧野駅および周辺地区	牧野図書館・牧野生涯学習市民センター、市民交流センター 枚方北郵便局、佐藤病院	○地下駅であるが西側にエレベーターがあり、円滑な移動が可能 ●駅前広場が計画されている駅の東側にエレベーターが設置されておらず利便性が低い	●乗降客数： 24,899人	●駅前交通広場及び牧野駅東地区市街地再開発事業との一体的な整備
御殿山駅および周辺地区	御殿山生涯学習美術センター・御殿山図書館、教育文化センター 福田総合病院	●地上駅であるが改札が1カ所であり構外踏切の横断が必要 ●改札から三条出町柳方面ホームは地下道階段のみの移動 ●駅の東側の市道が狭い	●乗降客数： 14,133人	●都市計画道路御殿山小倉線の整備
光善寺駅および周辺地区	蹉跎図書館・蹉跎生涯学習市民センター、老人福祉センター楽寿荘 吉田病院	○橋上駅であるがエレベーター等があり、円滑な移動が可能	●乗降客数： 23,174人	●京阪本線（寝屋川市・枚方市）連続立体交差事業調査
宮之阪駅および周辺地区	府立精神医療センター、府立刀根山支援学校、シルバー人材センター、関西電力（株）枚方営業所、イズミヤ（株）枚方店	●高架駅であり、枚方市駅方面へのホームへはエスカレーターで移動が可能。しかし、私市方面は階段のみの移動となる。 ●多目的トイレが設置されていない。 ●宮之阪駅から市役所周辺エリアへのアクセシビリティ向上	●乗降客数： 5,026人	●府道枚方茨木線、杉田口禁野線の歩道設置事業
星ヶ丘駅および周辺地区		●改札から枚方市方面ホームへは地下道階段のみによる移動	●乗降客数： 5,534人	
村野駅および周辺地区	サプリ村野	●改札から枚方市方面ホームへは地下道階段のみによる移動	●乗降客数： 5,943人	

※配置要件の主な特別特定建築物は駅と特別特定建築物間における徒歩移動が考えられるもので、上段を市が管理する特別特定建築物、下段は他の建築主等が施設設置管理者で検討を要する施設

※乗降客数は、平成19年度

○：解決されている課題要件 ●：解決策の検討が求められる課題要件